

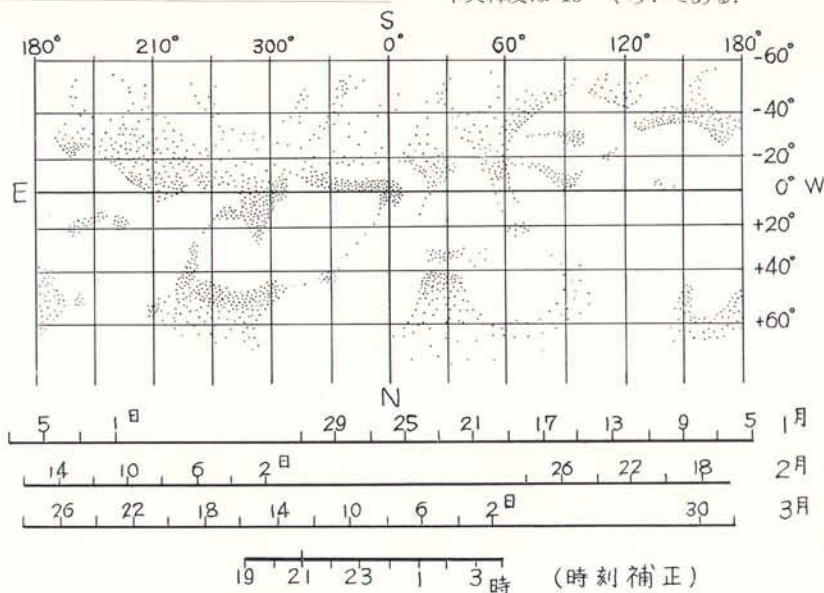
☆1月の天文暦☆

火星が近づく

日	時	記 事
3	10	上 弦
4	17	水星 最大離隔 太陽の東 19°
5	5	地球 近日点通過
5	10	パラス 衝
6	10	小寒 (太陽黄経 285°)
10	8	望 部分月食
11	11	水星 留
18	5	土 用
18	6	下 弦
20	20	水星 内合
21	3	大寒 (太陽黄経 300°)
22	3	月 金星の 0°1' 北をとおり
23	12	金星 最大離隔 太陽の西 47°
25	22	朔 金環日食
28	16	月 木星の 3° 南をとおり

火星の接近は1年おきにおこるが、軌道がかなりの楕円なので、年によって地球からの距離や見かけ直径に大きな違いがある。最良の場合、直径は最大 23" に達する。このたびは、火星が遠日点付近にいて条件がわるく、直径は 14" にしかならない。だが、火星の北半球の部分がよく見られる。そのころの火星は、地球にたとえると春から夏に向う時季で、北極冠の面積の縮んでいく様子がわかるだろう。

図は望遠鏡の 10 cm ていどで見られる火星面である。下の目盛で、1日おきの 21 時に火星像の中央をとおり経線の位置を示す。最下段はその他の時刻に対する補正值で、この部分を切りぬいて 21 時の線を日付の線に重ねると、それぞれの時刻での中央経度がもとまる。なお、中央緯度は 15° くらいである。



東京における日出入および南中 (中央標準時)

1月	夜明		日出		方位	南中		高度	日入		日暮	
	時	分	時	分		時	分		時	分	時	分
1	6	15	6	50	-28°1'	11	42	31°3'	16	38	17	14
11	6	16	6	51	-26.7°	11	49	32.4°	16	46	17	22
21	6	14	6	48	-24.3°	11	52	34.3°	16	56	17	31
31	6	9	6	43	-21.2°	11	54	36.8°	17	7	17	40

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

分		分		分		分		分	
鹿兒島	+28	+47	鳥 取	+21	+24	仙 台	+1	-10	
福 岡	+33	+43	大 阪	+14	+20	青 森	+9	-15	
広 島	+26	+33	名 古 屋	+10	+14	札 幌	+12	-24	
高 知	+20	+31	新 潟	+8	-1	根 室	-4	-42	

